

ウェルナー・ナッチガルス
ステファン・ゲンゲル



3 STEPS

個人伝道のための3ステップ



グローバル・アウト・リーチデー
トレーニング・ブック

3 STEPS

個人伝道の三つのステップ

GLOBAL OUTREACH DAY

トレーニング・ブック

“さあ、信仰によって踏み出そう！今までやったことがないことをやってみよう！”

ニック・ブイチチ
ライフ・ウィズアウト・リムズ

“グローバル・アウトリーチ・デーは積極的に信仰について話す良い機会となるでしょう”

ステイブ・ダグラス
キャンパス・クルセード・フォー・クライスト

“この日の素晴らしいところは、世界に福音を伝えるために世界中のクリスチャンがひとつになること”

ジェフ・トゥニクリフ
世界福音同盟

“その日には世界中のあらゆる国のあらゆる地域で伝道したい”

ローレン・カニングハム

“グローバル・アウトリーチ・デーはまさに救いの日！”

ラインハルト・ボンケ

人に魚を一匹あげても、一日分の食事にしかなりません。しかし、魚を獲ることを教えれば、その人は一生食べてゆけます。



ビジョン

グローバル・アウトリーチ・デーのビジョンは、その日、世界中同時にクリスチャンが全員で伝道することです。

毎年、全てのクリスチャンが、どこにおいても。

文化や年齢、教派を異にする多くのクリスチャンが、神に与えられた才能と機会を生かして多様な方法で伝道をします。その日に神が用いたいと思っておられる重要人物がここにいる・・・

です。(あなたの名前を書いて下さい)

第一回のグローバル・アウトリーチ・デーは2012年でした。ナイジェリアのラゴスで、100万人のクリスチャンが参加した祈祷会から始まりました。そこに集まったクリスチャン達はすぐに伝道のために遣わされました。

二年目には世界中のあらゆる国に広まり、ネパール全土、中国で人口1億人の一地域、そして、世界で二番目のメガシティであるメキシコシティにおいても、福音伝道が始まりました。

最初の二年間に2,500万人のクリスチャンが伝道に動員され、5,000万人に福音が伝えられました。世界中の人に伝道しようと多くの教会や伝道団体が協力して働いています。しかし、この特別な日の中心となるのは教会や伝道団体ではありません。それはイエス・キリストの福音なのです！

グローバル・アウトリーチ・デーは、普通のクリスチャンに伝道する意欲を起こさせる日です。

グローバル・アウトリーチ・デーのために備える

イエス・キリストの福音は世界最高のメッセージであり、救いに至る唯一の道です。ですから、私たちは人々にこの福音を伝えなければならぬのです。

この小冊子は個人伝道における主な3つのステップについて解説しています。こういうわけで、私たちはキリストの使節なのです。(2コリント5:20)

あなたがキリストの使節であるなら、メッセージの内容とそれを伝える方法を知っていなければなりません。伝えるメッセージの構造は、

1. 神のご計画
2. 問題
3. 神の愛
4. 決心

アプローチと会話

1. 注意
2. 興味
3. 願望
4. 実行

ある女性は牧師の娘だったのですが、20歳を過ぎるまで一度も他人に福音を語ることはありませんでした。彼女は怖かったのです。ある日、彼女は「恐れでしり込みするのはもう止めよう」と固く決心して出かけました。女の人が一人やって来たので、彼女は神の計画と愛について話しました。

するとその女性は泣き出したのです。牧師の娘は彼女を抱きしめて慰めました。すると、その女性は持っていたバッグからピストルを取り出し、これから森に行つて死ぬつもりだったと言いました。実は、彼女は出かける前に神に祈ったそうです。「神様、もしあなたがおられるのなら、天使を送って下さい。そのしるしとして、天使に私を抱きしめさせて下さい」と。

今、その女性は家族全員がクリスチャンになり、自分たちを救って下さったイエスを人々に伝えています。あなたが神に用いていただくのなら、神が世界のために計画されたことがあなたを通して確実に実現するよう、どうか正しいステップを踏んで進んで下さい。決



ステップ 1

コミュニケーションの方法

1. 相手の注意をひく

先ず、相手の注意をひくことが大切です。そうでないと、言葉とエネルギーを無駄に費やすことになってしまいます。ただ、人の注意をひくには勇気と工夫がいることがあるのです。

相手に対してこう考えます：イエスが死なれたのはこの人のためでもあった。この人は心を開いていて、キリストを受け入れられる状態にあるかも知れない。救われるチャンス、つまり、イエスの福音を聞いて信じるチャンスはこれが最初で最後かも知れない！

人に話しかる時に、たとえ胸がドキドキして何を言って良いのか分からない時でも、神があなたと共におられ、一緒に働いて下さることを忘れないで下さい。たとえ何か間違ったことを言ってしまったとしても、何も言わないよりは良いのです。どうか、神に耳を傾け、あなたを通して語って下さるようにして下さい。

相手に説教しないこと。プレッシャーをかけないこと。相手の言うことに耳を傾け、そして伝えましょう！

初めに、気軽に「こんにちは！」と声をかけます。そうです、本当にこんなに簡単でよい時があるのです。相手にほほ笑むことで会話

が自然に進みます。相手に警戒心を起こさせないような話しかけをします。

日常の何気ない会話に出てくるような質問から始めます。その場にピッタリなこと、例えば、スーパーの特価品のこととか、最近のニュースについての感想などを聞きます。効果的なコミュニケーションというのは、「どうして?」「なぜ?」「どうしたの?」というような、相手が自由に回答できる質問をすることで互いの間に安心感を作り出さなければ成り立ちません。相手の事情が分かってくると、上手に話を合わせる事ができるのです。それから、もう少し深い質問をします。「神様についてどう思いますか」とか「神様はあなたにとって、どういう意味がありますか」ときいて下さい。否定的な反応が返ってくるのでは、とビクビクする必要はありません。時にはそういう反応があります。神は私たち全てに自由意思を与えられたのですから。さあ、肩の力を抜いて下さい!

「今日、プレゼントをもらいましたか」ときいてみましょう。そして、「どうぞ、これを。必ず読んで下さいね。」と言って福音のトラクトを渡して下さい。できたらキャンディーを1つ付けて。あなたが用いることのできるものを使い、試行錯誤の上、最も効果的な方法を見つけて下さい。

どうすれば初対面の人の気を留められるか、そのアイデアをリストにしてみましょう。相手の地域性と具体的な状況を考慮して作戦を立てます。状況が違えば、アプローチの仕方も変えなければなりません。

力を抜いて、しかし、ゆるがぬ信念をもって!

2. 興味を高める

人の注意を引くことができれば、次はその人に好奇心を呼び起こすことを考えます。あなたからの的確な質問と適切な情報があれば、相手の人に興味がわいてきます。相手が興味を示し始めたら、さらに興味を高めるよう質問することが大切です。せっかく興味を持ち始めた人に、そっけない言葉で返答しないようにして下さい。相手の好奇心や興味をますます高めるよう心がけましょう。あなたは質問しながら会話をリードし、最後に相手をイエスに導くことができる

かも知れないのです。

ただ、こちらが話すばかりでは、決して相手に好奇心を起こさせることはできません。神は人間に一つの口と二つの耳を与えられました。これは自分が話す以上に、その倍も人の話しを聞きなさいということです。相手が心を開いて自分のことを話し始めたら、興味をもったという証拠です。静かに話を聞き、相手が正しい応答ができるよう心で祈りましょう。

あなたが相手に興味を示すと、相手も関心を寄せます！

3. イエスに従いたいという願望を引き出す

会話の中で相手のことが分かってくると、その人に何が必要なのか、どのように会話を進めるべきかが分かります。ここでは「イエスを知らない人は、人生で最も大切なことを欠いている」ということを、あなた自身が固く信じていなければいけません。あなたは信仰を働かせ、相手はイエスを信じたいと思っていると考えて下さい。あなた個人の体験を話した方が良いと思われたら、話して下さい。また、相手に具体的な必要があれば、そのために祈りたいと申し出ることも良いでしょう。

あなたの証し

あなた自身のことを話すことはとても大切です！つまらない話しになるか、興味深い話しになるかはあなた次第です。過去のあなたの話しにこだわらず、現在の自分のことや生活のある側面について話した方が、相手にとって興味深いかもしれません。また、神がどのように癒して下さったか、祈りに答えて下さったか、どのように助けて下さったかなどを話すのも良いでしょう。

大事なことは、あなたが何を語るかではなく、相手はどう理解するかです！

話す時は相手の人と同じレベルで話すことが、相手の関心を引き付けるために必要です。あなたの話しは世界にたった一つしかないユニークなものです。ですから、ユニークに話せるように是非工夫

してみてください。相手が最も共感できそうな話題をあなたの人生の中から選びましょう。何よりも、正直に話すことが大切です。神にあなたの人生で栄光を捧げましょう。

神がなさったことと、神がなされることに焦点を合わせて話しましょう。聞き手があなたの話しを理解しているかどうかを確かめましょう。そして、感想を聞いてみましょう。相手に興味があるかないかを見るには、相手の発するシグナルに注意を払っていることです。そのシグナルを見逃さないことは大変重要で、適切な質問ができるかどうかにつながります。

メッセージを効果的に伝えるために忘れてならない原則：
それは、こちらが話すのではなく、相手に聞くこと！

例えばこうです。「イエスはあなたのために十字架で死なれました。それはどうしてか分かりますか？」とたずねます。こうして相手がどこまで理解しているかを確かめます。それにそって、あなた自身の体験を話し、相手が心の中で「そこが知りたい！」と言えるよう、相手の聞きたいという思いを引き出して下さい。

人は、自分のためにイエスがなさったこと、自分のために神が計画されていること、そして、神からの赦しと平安と真の喜びと永遠の命について知った時、それまで信じていた間違った考えを捨てるでしょう。対立は心を閉ざします。イエスに人を導くには、先ず、その人と友達にならなければなりません。例え、あなたと考えが違っていても、相手を理解し、尊敬の念で接するよう努めて下さい。



ステップ2

メッセージの伝え方

メッセージで人を救いに導くためには、あなたが話すことを相手に理解してもらわなければなりません。そのために、どうすれば理解しやすく福音を語れるかを学ばなければならないのです。相手に理解して欲しい重要なポイントとは次のことです。

1. 神の計画

神が人を造られた時、神には素晴らしい計画がありました。それは、人は神との関係の中で生きるということでした。神が創造された世界では、全てのものが秩序を保っていました。そこには、争いも、不公平も、病気も、罪もありませんでした。人間はパラダイスで、創造主と調和の中で生きていたのです。

神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ。それは非常に良かった。

創世記1:31

あなたが話そうとしている相手に用意された神のご計画は、その人にとって何にも勝る最良のものであるはずです。

2. 問題

人は創造主から別れ、自分の思う通りに生きようと決めました。今日、その結果を私たちは見ていることとなります。互いに調和して平和に生きるのではなく、憎しみと嫉妬と病と争いの中で生きています。人間にとって、このような悲しむべき状態よりもさらに恐ろしいのは、神と永遠に切り離されていることです。イエスがはっきりとお示しになったことは、私たち人類は自力で神とのギャップを埋めることはできないということです。つまり、人は神の要求に沿うことはできないために、私たちはジレンマを抱えているということです。

義人はいない。ひとりもない。すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず…。

ローマ3:10、23

話しの中で、自分が救われたいと思うには、まず自分が失われた存在であるということを相手に理解してもらわなければなりません。

3. 神の愛

神は、正しく聖なる方であるにも拘らず、私たちを永遠に愛して下さいます。そのため、全ての人が当然裁きによって受けるべき罰を、神は、ご自分の御子に負わせられました。イエスは十字架上で私たちの罪の代価を払われたのです。

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3:16

4. 最も重要な決断

イエスは死からよみがえられました！今、イエスは生きておられ、あなたからの応答を待っております。善行を積むことや、瞑想や、教会に行くことで神に近付くことはできません。神への道はたったひとつ、それはイエスに目を向け、イエスがあなたのためにして下さったことを認め、赦しを請い、そして従ってゆくことです。

もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。

ローマ10:9



ステップ3

相手からの返答を得るために

1. 決心するよう招く

さて、相手に応答を求める段階に来ました。このステップを怖がらないで下さい!こう聞いてみましょう。「さあ、神様と仲直りしませんか?」と。

こういうわけで、私たちはキリストの使節なのです。ちょうど神が私たちを通して懇願しておられるようです。私たちは、キリストに代わって、あなたがたに願います。神の和解を受け入れなさい。

2コリント5:20

会話の最後には必ず相手の反応を確認しましょう。今まで話していた相手に「決心しませんか」とたずねてみましょう。この時点で多くのクリスチャンは尻込みしがちですが、相手が本気なら、もしあなたが誘ってみるなら、決心するかも知れません。

2. 救いの条件を説明し、それからイエスに従うよう招く

1. イエスがあなたの罪のために十字架で死んで下さったことを信じますか?—「はい。」(たとえ最初は返事が「いいえ」であったとしても、

あなたの話を聞いているうちに信仰が強まるかも知れません。)

2. イエスが死人の中からよみがえられたことを信じますか?—“はい。”(信仰は感情ではありません。決心から始まるものです。)

3. 今、イエスを心に受け入れたいと思いますか?(これ以上言わないで下さい。ただ相手の答えを待っていきましょう。)—“はい。”

相手の人と一緒に祈ることをためらわないで下さい。他に何も言う必要はありません。私たちは強要も強制もしたくありません。けれども、何かクラブのようなものに勧誘しているわけでもないのです。これはまさに生きるか死ぬかの問題なのです!

3. あなたの後について祈るよう求める

さあ、相手の人に「声を出して、私の後について祈って下さい」と言いましょう。相手に目を閉じてもらい、声を出してはっきりと次のように祈ります。

イエス様、あなたが神の御子であることを信じます。私の罪のために死んで下さったことを信じます。どうか私を赦して下さい。そして、私の心にお入り下さい。あなたが死からよみがえり、今も生きておられることを信じます。あなたを私の主であり、救い主として受け入れます。生涯、あなたに従います。アーメン。

4. 今の行為を理解しているかどうか確かめる

このタイミングで、あなたは相手の決心を確かなものにする必要があります。その人の決心をしっかりと根付かせることが重要です。ここからは、誰かがキリストを信じた場合、その直後の数分間についての話をしましょう。この決心がどういう意味をもつのか、相手の人がはっきり理解するために、次のように質問します。

今したことがどういうことか分かりますか?

本心からしましたか?

もしこのことで家族や友人にからかわれたり、気が狂ったのではな

いかと言われたら、どうしますか？

キリストを信じたばかりの人にクリスチャンとして生きることに
ついて、4つの最も大切なポイントを説明しましょう。

1. 祈り - 神に語りかけ、イエスとの関係を築くことです。
2. 聖書 - 神のみ言葉を読み、神と、神の教えについて学びます。
3. 教会 - 他のクリスチャンと会い、彼らとの友情を育みます。
4. 使命 - 福音と自分の体験を他の人に話します。

最後に、相手の連絡先を聞き、3日以内に再び会う約束をしまし
よう。あなたか他の人が、その人に弟子訓練をしましょう。信じたば
かりの人にとって、必ずこの4つのポイントが土台となるようにして下
さい。



行動のステップ

誰でも誰かに伝えられます!グローバル・アウトリーチ・デーに人々に伝える方法は無限です。

一人対一人で — 電話をしたり訪問したり、またはお茶に誘ってイエスについて話します。

二人一組で — 教会で集まったら小さなグループに分かれます。二人一組で、人のいる街中やマーケットや病院等へ出て行き、伝道します。

ケアとシェア — 何かをして人に喜ばれた時、その機会をとらえて福音を伝えます。

あなたの地域で — 地域の家を一軒一軒訪ねる計画など、どのような伝道方法があるか考えます。

あらゆる方法で — 野外集会を催すこともできますし、人がいつも集まる場所に出かけることでも伝道できます。どこに行くべきかは神に聞くことを忘れないで下さい。伝道の方法はたくさんあります。そして、伝道する場所も本当にさまざまです。

もっとアイデアを知りたい、また、掲載したいアイデアがあるという場合は、www.globaloutreachday.comを見て下さい。また、あなたから報告があれば送って下さい。

グローバル・アウトリーチ・デーは世界を変える日になるでしょう。神は、あなたを用い、あなたの町とあなたの国の祝福として下さることでしょう。

**誰でも誰かに伝えることができ、みんなで力を合わせれば
世界に伝えられます！**

3 STEPS

個人伝道のための トレーニング・ブック

福音は史上最も偉大なメッセージです。神はあなたを通して人々に福音を伝えたいと願っておられます。

この「3ステップ・トレーニング・ブック」によって、どうすれば人々をキリストに導くことができるか学ぶことができます！10日間で、思いもよらない可能性があなたの中から引き出され、弱さや不安があるにもかかわらず、あなたはイエスを知らない人々にとって、祝福となれるのです。



グローバル・アウトリーチ・デーの創始者であるウェルナー・ナッチガルとステファン・ゲンゲルの二人は、世界を巡りながら、伝道のためにクリスチャンを励まし、動かし、そして訓練をしています。この本で解説されている原則は大変効果的であることはすでに証明されています。



力を合わせて世界に伝道しましょう！

